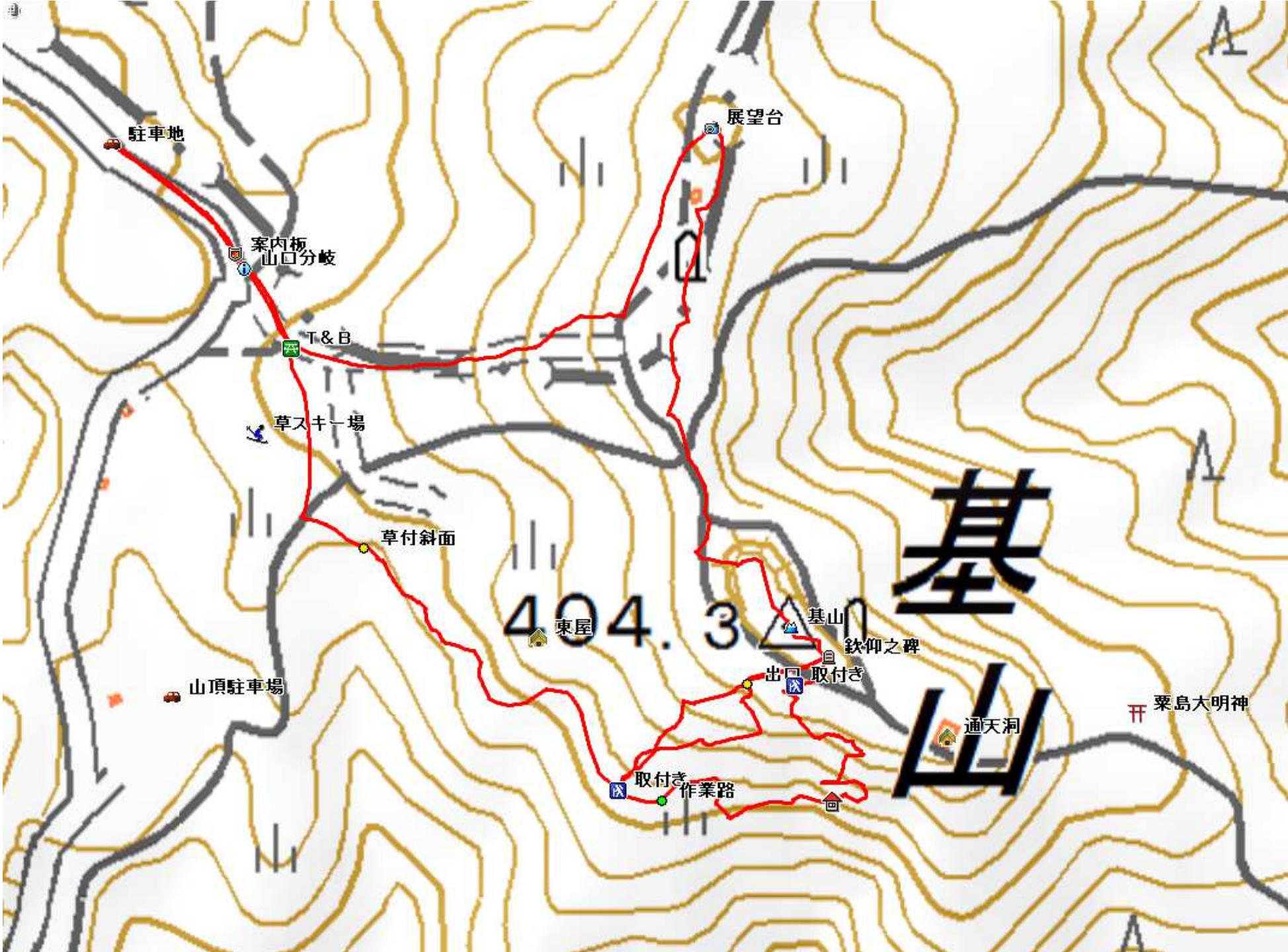


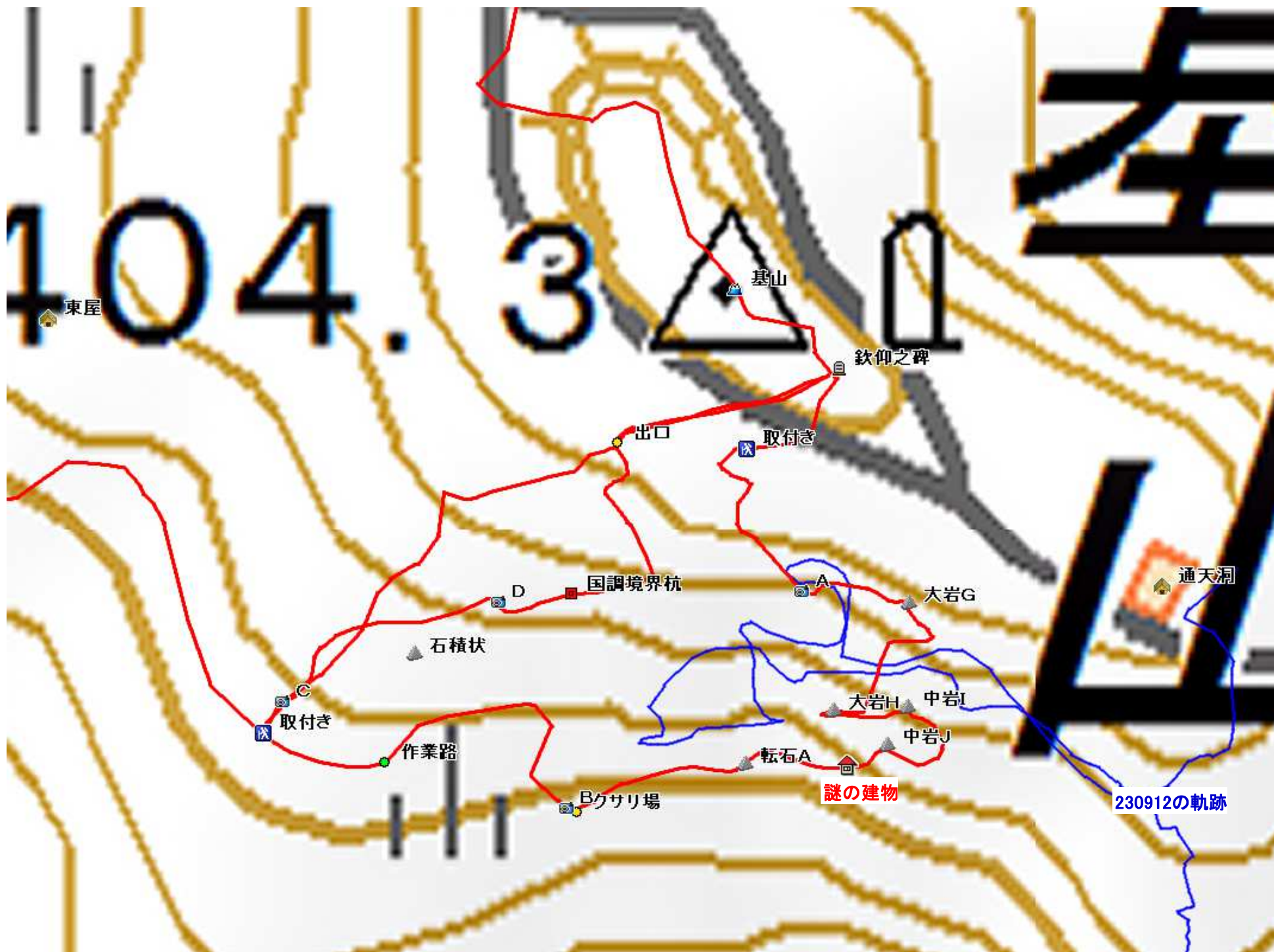
240111 基山(404m)

1.8 km 1時間47分 (休憩・撮影時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです



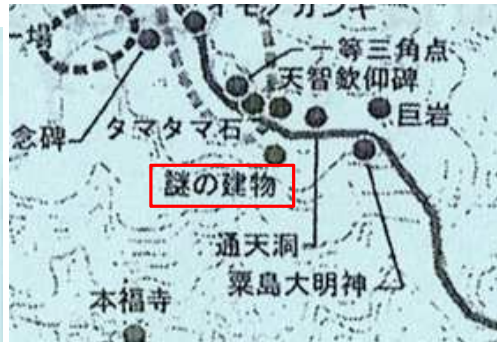
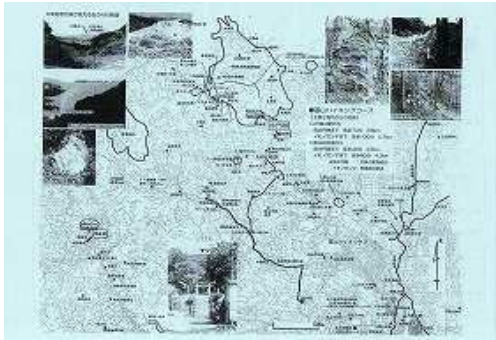
- 駐車地
- ↓ 0:12
- 展望台
- ↓ 0:06
- 基山(404m)
- ↓ 0:02
- 取付き
- ↓ 0:50
- 作業路
- ↓ 0:17
- 鉄仰之碑
- ↓ 0:14
- 草付斜面
- ↓ 0:06
- 駐車地

240111 基山(404m) 謎の建物搜索詳細図



基山(404m) 2024.01.11(木)晴れ

駐車地→展望台→基山(404m)→取付き→作業路→欽仰之碑→草付斜面→駐車地



昨年9月12日に山頂部南斜面の謎の建物を探索したが建物らしき物の発見に至らなかったため、再度探索してみた。

山頂駐車場が工事中なので古屋敷へ通じる道路の路肩に駐車し南東へ戻る。



70m程下ると山口分岐が見えて来た。

左に九州自然歩道案内板を見送る。

山口分岐を通過する。



草付き斜面のT&B(テーブルとベンチ)を通過する。

西南西に九千部山を望む。

草スキー場の斜面を上って行く。



北北西の展望。

東へ草付き斜面を上って行く。

北よりの切り欠きに上り詰める。



上り上がり土塁端部から北北東を望む。

展望台に到着。



北東の展望。



南の展望。



西南西の展望。



北北西の展望。



西休息所へ立ち寄る。



「いものがんぎ」を通過する。



基山山頂へ向かう。



基山(404m)に到着。



明治21年選点の一等三角点:防住山(ぼうじゅさん)(404.34m)が設置されている。



南へ上昇する航空機。



天智天皇欽仰之碑

タマタマ石

これから捜索に向かう南斜面を見下ろす。



此処から取付く。



タマタマ石

天智天皇欽仰之碑

取付きから振り返る。



斜面に転がる清酒一合瓶。



南東へ下ったAの様子。



獣道を東へ進む。



17m程進むと、大岩Gを見た。



左側に国調境界杭を見る。



南東へ斜下する。



東の方が開けて来た。



南の謎の建物方向を望む。



急斜面を南西へ下る。



大岩Hに東から近づく。



大岩Hの基部には何も無い。



東へ進む。



12m程進んで、中岩Iを北側斜面に見る。



南西の謎の建物方向へ下る。



中岩Jを北側斜面に見る。この辺りが謎の建物であるが、周囲にそれらしきものは見当たらない



西へ進む。



転石Aに出会い、西へ進む。



アンカーで固定されたクサリ場に出会う。



クサリは錆びついており何十年も前の物のようだ。



傍に転がるガラス瓶。



B クサリ場の先から見上げる北斜面。



東に大岩を見る。



北西の赤テープへ向かう。



北斜面上部に石積状の物を見る。



作業路に出会う。



此处までの斜面に転がっていた品々(1)。



此処までの斜面に転がっていた品々(2)。



作業路

作業路が北西へ延びている。



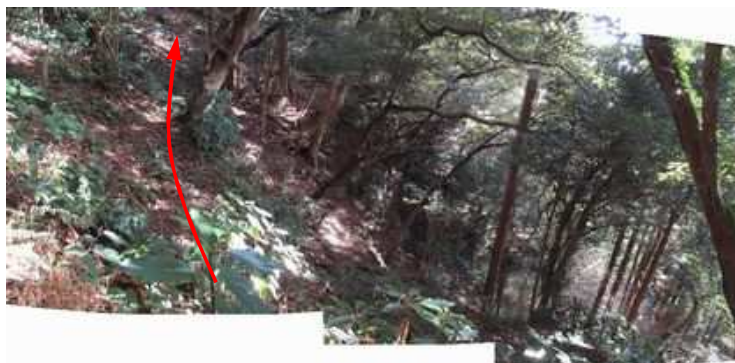
此処から取付き斜面へ入る。



C 踏み込むと雑木の緩斜面が北東へ延びていた。



石積状の上部に立ち寄る。



D 東方向へ斜上する。



獣道を東へ斜上する。



国調境界杭を見る。



北北西へ上って行く。



出口が見えた。



出口の正面。



天智天皇欽仰之碑へ向かう。



天智天皇欽仰之碑への下で一休みする。



再度、出口へ戻り南西斜面へ踏込む。



雑木の緩斜面を南西へ下って行く。



取付きを出て作業路に降り立ち、北西へ向かう。



小木のヤブを抜ける。



草ヤブを抜ける。



奥が開けた。



草付斜面に出会う。



きのくに古道に出会う。



草スキー場を北へ横断する。



サザンカの大木。



草付き斜面のT&B(テーブルとベンチ)を通過する。



山口分岐を通過する。



駐車地に帰り着いた。

- ・謎の建物の発見には至らなかった。建物を建てるような平坦スペースはなかった。
- ・山中に固定されたクサリ場があった。その昔、南の本福寺から沢浴いのルートがあったと推察される。
- ・搜索範囲の斜面には様々なガラス瓶が転がっていた事を考えると、昔は上部の大岩は展望岩として人々が登っていて、捨てられたものと推察できる。
- ・謎の建物と表示するからには、建物はあったのだろう。場所が違うのか？

謎の建物をご存じの方がいらっしゃったらご一報ください。



サザンカ ピンク



サザンカ 赤ピンク



フユイチゴ 実